

一般社団法人パピルスネットワーク全国会 平成 27 年度事業報告

一般社団法人移行後 2 年目にあたる平成 27 年度は、長期的視野に立ち、将来的な当会発展のための基礎づくりや、資金面、運営面において力を蓄える年度となりました。勉強会の実施や認証制度の構築など、教育制度を通じた実務能力の基礎作りと組織力の強化を図るとともに、会員各位の声を広く汲み取り今後の事業内容や組織作りに活かすことを目的とした運営アンケートを実施しました。平成 28 年度以降はこの基礎作りをもとに、任意団体からの長年の経験と様々な事業分野の会員が集まる団体という特徴を活かしながら、機密文書の裁断サービスの輪を広げて行きたいと考えております。

【会員の異動数】

区分	会員		増減
	平成 27 年 4 月時	平成 28 年 4 月現在	
正会員	75 社	73 社	- 2 社
賛助会員	5 社	5 社	±0 社
合計	80 社	78 社	- 2 社

入会企業：<正会員>株式会社道環リサイクル（平成 27 年 9 月）

退会企業：<正会員>株式会社ネオ金沢（平成 27 年 10 月末）

オリエン特紙業有限会社（平成 28 年 3 月末）

株式会社要興業（平成 28 年 3 月末）

1. 裁断業務の品質対策

（1）研修会、講習会等の実施

平成 27 年 11 月 13 日（金）に TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター（東京都中央区）にて「一般社団法人パピルスネットワーク全国会 研修勉強会」を開催しました。また、翌週 20 日（金）には東京会場での内容のフォローアップ研修をナカバヤシ大阪支社（大阪市城東区）で開催しました。勉強会では平成 28 年 1 月より制度が開始されましたマイナンバー制度が機密紙処理ビジネスに与えるインパクトと、会の CSR 活動として長年実施していますカーボン・オフセットの現状についての講演を実施し、機密文書の裁断事業に関して理解と知識を深めました。勉強会には東京会場約 55 名、大阪会場約 25 名の会員が参加しました。勉強会の様子は会のスキルアップへの取り組みとしてホームページに公開しています。

（2）機密文書裁断リサイクルマニュアルの作成

第一期より進めて参りました裁断業務を行ううえで必要となる事項や留意事項等を定めたマニュアルを、マニュアル作成委員会が中心となり完成させました。作成したマニュアルは機密文書裁断業の知識を深める資料として平成 27 年度総会で全会員に配布を行いました。また、文書排出事業者に当会の機密文書処理を理解いただくためホームページでの公開を行いました。

【マニュアル作成委員会開催日程】

平成 27 年 4 月 9 日、10 日 名鉄イン名古屋金山 会議室

(3) 表彰制度

当会員より推薦された下記会員企業を、会の発展に寄与したと思われる会員企業および、社会貢献活動に取り組んでいる会員企業であると理事会で認め、表彰します。

【表彰対象者】

表彰対象者名(企業名)	表彰理由
株式会社本田春荘商店	多年にわたり機密文書の裁断事業に精励されるとともに、中国ブロックの幹事を歴任され、当会の発展に尽力された。
ジェイカス株式会社	インターネット等を通じた積極的な情報開示により機密文書裁断サービスおよび当会の知名度アップに寄与された。
北勢商事株式会社	当会が社会貢献活動として進める植樹活動に積極的に参加され、会の知名度およびイメージアップに寄与された。

(4) 機密文書裁断抹消処理士認証制度の準備・構築

認証制度の委員会を立ち上げ、適性に業務にあたる実務者を定め、情報抹消を依頼する方々の信頼を得られる業務を行うための内部統制として、機密文書裁断抹消処理士認証制度の構築準備を行って参りました。平成 28 年度内に運営を開始する予定です。

【認証制度推進委員会開催日程】

平成 27 年 7 月 3 日 ナカバヤシ (株) 大阪本社 会議室
平成 27 年 10 月 30 日 (株) 山本清掃 会議室
平成 28 年 2 月 17 日 ナカバヤシ (株) 大阪支社 会議室

2. 広報宣伝事業

活動広報のために、業界紙などの報道機関に対して、総会や勉強会等の情報開示と取材協力を実施致しました。また、市場への PR のため、ホームページよりダウンロード出来る会統一の裁断サービスのチラシを作成しました。

【掲載記事】

発行物・記事内容	掲載号	発刊元
週刊循環経済新聞 「機密処理団体が総会を開催 パピルスネットワーク全国会 バイオマス発電所の見学も」	2015 年 6 月 1 日号	日報ビジネス株式会社
古紙ジャーナル 「パピルスネットワーク全国会の総会を 島根県で開催」	2015 年 6 月 8 日号	有限会社古紙ジャーナル社
環境新聞 「機密文書適正処理の重要性一段と高まる パピルスネットワーク全国会が勉強会開催」	2015 年 11 月 18 日号	株式会社環境新聞社
週刊循環経済新聞 「パピルスネットワーク全国会 カーボンオフセットも再検討 マイナンバーなどで研修会」	2015 年 11 月 23 日号	日報ビジネス株式会社
古紙ジャーナル 「マイナンバーで企業が情報管理体制を見直し 処理業者も対応迫られ、掘り起しの好機に」 パピルスネットワーク研修勉強会をもとに報告	2015 年 11 月 30 日号	有限会社古紙ジャーナル社

3. 環境保護活動の推進・貢献活動の実施

(1) カーボンオフセットの継続実施

より環境に配慮した事業活動を目指し、任意団体から継続してカーボンオフセットへの取り組みを行いました。

平成 27 年度は 約 840t の CO2 をオフセットしました。

【協カプロジェクト】

- ・ 震災がれき再資源化による J-VER 創出プロジェクト
： 大船渡市ほか被災自治体と太平洋セメント
- ・ Aleo Manali 3MW 小規模水力発電プロジェクト (インド)
- ・ SRGEL エネルギー源バイオマス発電プロジェクト (インド)
- ・ タミルナドゥ Newsprint and Paper 社 6.75MW 風力発電プロジェクト (インド)

(2) 植樹ボランティアへの参加

パピルスネットワーク会員企業に財団法人イオン環境財団様が行っている植樹事業への参加を募り、4組の方が植樹ボランティアに参加致しました。参加者には写真とレポートを提出していただき、パピルスネットワークのCSR活動・環境保護活動として、ホームページに掲載しています。

参加者名(企業名)	日付	参加地
北勢商事株式会社様	平成 27 年 11 月 14 日	千葉県浦安市
株式会社三郷興業様		
近畿産業株式会社様		
環境整備産業株式会社様	平成 27 年 11 月 21 日	宮崎県綾町